

鹿屋市内のスポーツ情報をより多くの市民の皆様へ発信するため、市内で開催されるスポーツイベントや鹿屋市体育協会加盟の競技団体、地元のアスリートなどを紹介し、「スポーツによるまちづくり」を推進することを目的に発行しています。



※上記のイベントは自由に観覧出来ます。

[illegible]

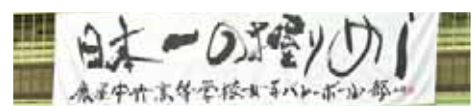
鹿屋中央高等学校 女子バレーボール部



平成 27 年 1 月 17 日から 19 日に開催された「鹿児島県高等学校新人バレーボール競技大会」において優勝。同校の優勝は、新鍋理沙選手（久光製薬スプリングス）を擁して以来 7 年ぶり 6 回目。今大会では、決勝の鹿児島女子高校戦まで、全てストレート勝ちという安定ぶりを発揮しました。九州大会は惜しくも決勝トーナメント 2 回戦で敗れましたが、中学時代県選抜メンバーの繁昌麻里奈主将（田崎中学校卒）・川ノ上愛絵選手（伊敷台中学校卒）などレベルの高い選手が揃い、今後の活躍が期待されます。

チームスローガンは「和」と「日本一の握りめし」

「一人一人の選手の力は米粒ほどでも、全員の和が揃えば、握りめしとして日本一を目指せる」というチームの伝統的な姿勢が込められている。



「和」と「日本一の握りめし」と書かれた横断幕は、練習や試合のときに掲げる。

同校男子バレーボール部元監督の原口正明氏（現鹿屋市体育協会会長）が直筆したもの。



Interview



繁昌麻里奈主将（田崎中学校卒）写真左

中学時代は川ノ上選手とともに県選抜メンバーに選ばれた。写真右はセッターの大塚綾華選手（大始良中学校卒）。

鹿屋中央高校バレー部ユニフォームの右肩には、「夢叶う」の花言葉を持つ青いバラの花があしらわれている。

◆バレーボールを始めたきっかけは？

姉がバレーボールをしていて、「自分もしないといけないのかな……」というどちらかというと消極的な理由です。

◆なぜ鹿屋中央高校バレー部に入部を？

地元に残りたい気持ちが強く、大田先生のもとでバレーをしたかったからです。

◆県新人大会優勝のときの気持ちは？

決勝までの 5 試合、みんなに「勝とう」と言い続けてきました。優勝は、高いモチベーションを維持し、チームとしてまとまっていた証だと思います。全国大会出場の夢を叶える一つのステップとして、すごく嬉しかったです。

主将として、チームをまとめることの難しさもありましたが、結果を出すことができ、バレーボールをしていて良かったと思いました。

◆将来の夢は？

春高バレーに出場すること。そして、体育の教員になることです。

大田裕輔監督

上小原中学校、鹿児島商業高校、国際武道大学卒業。パイオニアレッドウィングスのコーチ経験を活かし、同部監督就任 7 年目。選手が共同生活を送る寮の館長も務める。

◆バレーボールを始めたきっかけは？

バレーボール一家だったから。両親と二人の姉もバレーをしていて、私にとってバレーは必然でした。

◆中央高校バレー部を一言で表すと？

「家族」。天然だけど、オンとオフの切り替えが上手いところが好き。夏にはみんなで魚釣りや海水浴に行ったりしますよ。

◆指導者として心がけていることは？

鹿屋中央高校の伝統は「和」を重んじたチームプレー。つなぐこと、次の人のプレーを考えることを意識させています。学校生活はもちろんですが、寮生活の指導にも力を入れていて、将来、それぞれが家庭を持つことを考え、寮では洗濯・料理などもさせています。

バレーボールを通じて「生きる力」を身につけてくれることが願いです。

◆今回の優勝について？

レベルの高い選手がチーム全体を牽引し、高いレベルでまとまることができた結果です。昨年からのレギュラー経験のある選手が多かったことも幸いでした。

◆今後の目標は？

基礎練習を重視し、筋力や技術力のレベルアップを図ります。「感謝の心」と「謙虚な心」を忘れず、全国出場を目指します。目標はやはり、高校バレーの集大成である春高出場です。

鹿屋市漕艇協会



県内でボート競技が行われている場所は、大隅湖（鹿屋市）、川内川（薩摩川内市）、磯海水浴場（鹿児島市）の3か所で、その中でも大隅湖は年間を通してコースが設置され、鹿児島県におけるボートの中心地と位置づけられています。2020 年には国民体育大会ボート競技が、大隅湖を会場として行われる予定です。

現在鹿屋市には、鹿屋体育大学、鹿屋高校、鹿屋工業高校、鹿屋農業高校にボート部がありますが、今年から中学生（一般を含む）以上を対象とした「鹿屋ボートクラブ」を結成し、ジュニアの育成活動に取り組みます。国体選手を目指したい方も、趣味としてボートを漕ぎたい方もご参加お待ちしております。



「全員が主役」

角 柊人（スミシュウト）
鹿屋工業高校（鹿屋中学校卒）

中学まで水泳をしていましたが、何か新しいことに挑戦したいという気持ちからボート部に入部しました。ボートは一人のスター選手がいるわけではなく、全員が主役となり、チーム一丸となれるところが魅力です。

■体験試乗会のご案内■

小・中・高校生を対象に、体験試乗会を開催いたします。参加を希望される方は、右記までご連絡ください。

■開催予定日■

4/18、5/16、6/13、7/4、7/25、
8/8、8/29、9/12、10/31

■時 間■ 9：30～11：30 ■場 所■ 大隅湖（鹿屋市艇庫）

■参加料■ 無料



申込み・問合せ先

鹿屋市漕艇協会 担当：松元
（鹿屋市体育協会内）
電話：0994-43-0719

鹿児島国体に向けて競技力の向上に取り組みます！

鹿屋市では、平成 32 年に開催される鹿児島国体において本市出身選手が活躍できるよう、競技力向上の取り組みをまとめた「鹿屋市アスリート育成プラン」を策定しました。

今後は、このプランに基づき、鹿屋市体育協会加盟の各競技団体等と協力して選手の育成・強化を行うこととし、少年団や運動部に所属する選手については、競技団体が優秀選手を招集し、育成・強化を行うことができるような体制づくりを進めます。

一方、少年団又は運動部がない競技については、選手の育成・競技の普及が図られるよう、競技団体に育成普及型競技別スポーツクラブの設立を促すとともに必要な支援を行います。

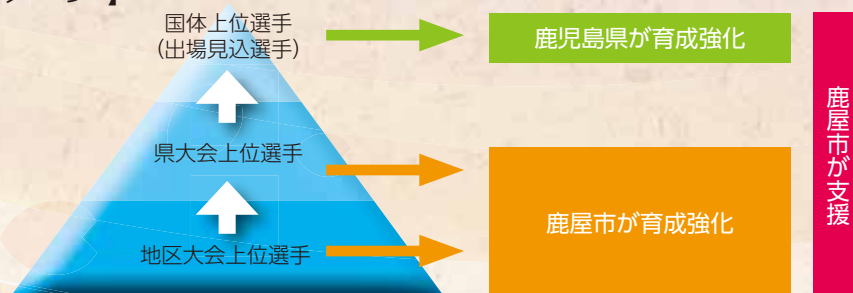
【事業年度】

平成 27 年度～平成 32 年度（6 年間）

【平成 27 年度の主な取り組み】

- 競技別強化スクール事業
- 育成普及型スポーツクラブ設置事業

【役割イメージ】



支援制度

スポーツ活動における各支援を行っています。ぜひご利用ください。

鹿屋市スポーツ指導ボランティア

鹿屋体育大学と連携し、地域の小中学校やスポーツ団体等に学生のスポーツ指導ボランティアを派遣しています。

対 象：地域の小・中学生及びスポーツ団体等

内 容：鹿屋体育大学生の派遣による実技指導

(種目：野球・陸上・バレー・セパタクロー・剣道・テニス・バドミントン・サッカー・体操・水泳運動教室)

※平成26年度は中学校・スポーツ少年団・総合型スポーツクラブ等へボランティアを派遣しています。申込方法、詳細はお問い合わせください。



スポーツ大会出場助成金

体育協会と連携し、九州大会以上の大会に出場する選手・チームに対する支援を行っています。

対象者：日本体育協会の加盟団体が主催又は主管する九州大会以上のスポーツ大会に、予選会を経て県代表選手として出場する次の方。

- ・市内に居住する小中学生・高校生
- ・鹿屋女子高等学校の生徒
- ・市内に居住する社会人（大学生を除く）

支給額：大会の開催される場所、年齢、鹿屋市体育協会加盟の有無等により異なります。

詳細はお問い合わせください。

申 請：スポーツ大会出場助成金申請書をご提出ください。

※申請書は、市民スポーツ課ホームページからダウンロードできます。



スポーツ指導者等資格取得助成金

スポーツ指導者及び審判等の資格取得にかかる各種研修・試験の参加者に対して助成金を支給します。

対象者：鹿屋市体育協会に加盟する競技団体に所属し、当該年度中に資格を取得した者。

※対象となる資格等については、各競技団体を通じてお知らせします。

一緒にスポーツしませんか？「鹿屋市スポーツ推進委員」

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法で規定されている公的な社会体育指導者で、鹿屋市が委嘱した非常勤の職員（任期2年）です。市民の皆様が、生涯スポーツ活動を実践できるよう、コーディネーターとしての役割を担っています。

各中学校区単位で配置されていて、様々なスポーツイベントの参加案内や地域のスポーツイベントの相談にも応じます。現在60名（鹿屋地区26名・吾平地区11名・輝北地区10名・串良地区13名）が活動中です。地域の身近なスポーツ推進委員の連絡先は、市民スポーツ課までお問い合わせください。

参加者募集

「第72回父親バレーボール大会」

仲間づくり・健康づくりを目的に、鹿屋市内の小中学校区の既婚者（35歳以上）で作られたチームによる9人制バレーボール大会で、毎年夏と冬の2回開催しています。バレーボール経験者も、そうでない方も、地域のパパさんと交流しませんか！

●開催日 平成27年7月21日（火）～23日（木）

会場：串良平和アリーナ

●主 催 鹿屋市スポーツ推進委員協議会

※詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせください。



「第71回父親バレーボール大会」

Aクラス優勝
「上小原 A パパさん」

